

事務事業評価表 平成22年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 就業環境の整備
 基本事業 就業機会の確保

事業名 **緊急雇用創出事業 (公園環境美化事業)**

[0908]

部名	建設部	事業開始年度	平成21年度	実施計画事業認定	非対象
課名	都市建設課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>公園緑地</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>・この事業により 市内の雇用を創出する。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>老朽化している遊具及び木製ベンチの塗装作業を行う</p>
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	公園緑地数	箇所			228	228
対象指標2						
活動指標1	塗装実施公園緑地数	箇所			49	80
活動指標2						
成果指標1	雇用者数	人			4	4
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	4,095	6,664
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,245	1,249
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	5,340	7,913

費用内訳	
21年度	委託料 4,095千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	
------------	--	---------------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由
・
根拠は？

公園施設の塗装を行い施設の耐久効果、美化向上を図る。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

公園施設の維持管理である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由
・
根拠は？

快適で安全な公園利用を図る。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

老朽化している施設の塗装を行うことで公園美化、雇用に繋がる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由
・
根拠は？

必要最小限のコストで実施している。